

10/588173

Date : 03.06.2005

The International Bureau of WIPO
34 Chemin des Colombettes
1211 Geneva 20
Switzerland

JP20 Rec'd PCT/PTO 02 AUG 2006

Amendment of the claims under Article 19(1) (Rule46)

International Application No. : PCT/JP2004/001113

International Filing Date : 04.02.2004

Applicant : ONO SOKKI CO., LTD.

16-1, Hakusan 1-chome, Midori-ku, Yokohama-Shi, Kanagawa, 226-8507 Japan

Telephone No. 8145-935-3888

Agent : KAMATA Hisao

Ikebukuro Mutsumi Building 3rd Floor, 41-8, Minami-Ikebukuro 2-Chome,

Toshima-ku, Tokyo 171-0022 Japan

Telephone No. 813-3987-7650

Applicant's or Agent's File reference : PCT-OS03016

Dear Sir

The Applicant, who received the International Search Report relating to the above identified International Application transmitted on 04.02.2004, hereby files amendment under Article 19(1) as in the attached sheets.

We hereby would like to amend the claims 3, 4, 5, 6, 7 and also cancel the claims 1, 2.

The Applicant also files as attached herewith a brief statement explaining the amendment.

Very truly yours,

Signature 金鋪、田久男



Attachment :

(1) Amendment under Article 19(1)

3 sheets

請求の範囲

1. (削除)

2. (削除)

3. (補正後) 動力伝達経路中に配置され、測定すべきトルクを受けて変形する弾性部材と、

前記弾性部材の変形に基づいて、トルクを検出するトルク検出手段と、
を含むトルク計において、

前記弾性部材に加えられるトルクを受けるトルクメンバーと、

前記トルクメンバーとは分離して設けられ、前記弾性部材の荷重を支える荷重
メンバーとを備え、

前記弾性部材は、フランジ型の部材であり、

前記トルクメンバー及び荷重メンバーは、前記弾性部材に形成された薄肉部で
あり、

前記トルクメンバーは、トルク方向と平行に、薄肉部の面方向が配置され、

前記荷重メンバーは、トルク方向に平行に、薄肉部の厚み方向が配置されるこ
と、

を特徴とするトルク計である。

4. (補正後) 動力伝達経路中に配置され、測定すべきトルクを受けて変形す
る弾性部材と、

前記弾性部材の変形に基づいて、トルクを検出するトルク検出手段と、
を含むトルク計において、

前記弾性部材に加えられるトルクを受けるトルクメンバーと、

前記トルクメンバーとは分離して設けられ、前記弹性部材の荷重を支える荷重メンバーとを備え、

前記弹性部材は、トーションバー型の部材であり、

前記トルクメンバーは、小径軸部であり、

前記荷重メンバーは、前記小径軸部の放射方向に形成され、捩じりモーメントの方向に面方向が配置された薄肉部であること、
を特徴とするトルク計。

5. (補正後) 動力伝達経路中に配置され、測定すべきトルクを受けて変形する弹性部材と、

前記弹性部材の変形に基づいて、トルクを検出するトルク検出手段と、
を含むトルク計において、

前記弹性部材に加えられるトルクを受けるトルクメンバーと、

前記トルクメンバーとは分離して設けられ、前記弹性部材の荷重を支える荷重メンバーとを備え、

前記弹性部材は、円筒型の部材であり、

前記トルクメンバーは、円弧方向に配置された薄肉部であり、

前記荷重メンバーは、放射方向に配置された薄肉部であること、
を特徴とするトルク計。

6. (補正後) 請求の範囲 3 から請求の範囲 5 までのいずれか 1 項に記載のトルク計において、

前記トルク検出手段は、前記トルクメンバー及び／又は前記荷重メンバーに取り付けること、

を特徴とするトルク計。

7. (補正後) 請求の範囲 3 から請求の範囲 6 までのいずれか 1 項に記載のト

トルク計において、

前記トルク検出手段は、2種類以上の手段を用いること、
を特徴とするトルク計。